



顕真アワー



京都「差別」考 —「凡庸な悪」と「悪人正機」

京都は、国内外から多くの人々が訪れる、日本屈指の歴史と文化を誇る都市です。街を巡る人々の多くは、伝統ある寺社建築や趣のある街並みに触れ、その風情を堪能しています。しかしその一方で、京都は長い歴史の中で、特定の人々に対する差別的な構造が形成されてきた場所でもあります。なぜそのような差別が生まれ、定着してしまったのか。そして、人々はその問題にどのように向き合い、行動してきたのか。本講演を通じ、みなさまとともに考えてまいりたいと思います。

講師：磯前順一 国際日本文化研究センター名誉教授

略歴

宗教学者。東京大学大学院人文科学研究科宗教学専攻博士課程中退。博士(文学)。四代目磯前屋主宰、国際日本文化研究センター名誉教授。主な著書に『京都 祈りと差別の千二百年』(垂紀書房)、『新・学問のすすめ 研究者失格!-馬鹿は死んでも直らない』(白水社)、『近代日本の宗教言説とその系譜』(岩波書店)、『死者のざわめき 被災地信仰論』(河出書房新社)、『公共宗教論から謎めいた他者論へ』(春秋社)ほか多数。



日付・場所

日時

2026年11月4日(水)

15:15—16:45

場所

龍谷大学 大宮学舎本館講堂
(同時配信あり)

■詳細・お申込

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-19344.html>

■お問い合わせ

龍谷大学宗教部

TEL: 075-645-7880

Mail: syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp



主催 龍谷大学宗教部